

愛南町 合併10周年 さらなる発展をめざして



愛南リポーターズによる演出。ステージに旧5町村の地図が登場しました。



式典では中村時広県知事をはじめ、中田廣県議会議員、山下正敏町議会議長(写真)から祝辞をいただきました。

10月12日(日)、愛南町の合併10周年を記念して御荘文化センターで記念式典が開催され、約400名の町民が参加しました。
式典では、愛南リポーターズが制作した映像「合併10周年のあゆみ」が放映された後、清水雅文町長が辞を述べ、中村時広県知事や中田廣県議会議員、山下正敏町議会議長から祝辞をいただきました。
式典終了後、ふるさと親善大使3名による記念コンサートも行われました。

愛南町ふるさと親善大使コンサート

愛南町ふるさと親善大使の礼奈さん、山本さと子さん、「テノヒラ」のkikuさんの3名が愛南町合併10周年を祝い、すばらしい歌声を会場に響かせました。それぞれのステージが終了した後には、3名が共演してジョイント曲を披露しました。

礼奈さん▶



▲山本さと子さん

kikuさん▶



清水雅文町長の記念式典挨拶（要旨）



光陰矢の如し、十年一昔といわれ

ますように本日に月日の経つのは早いのですが、思い起こせば県下の先駆けとして、常に合併の先頭を走ってきた当時の南宇和合併協議会も「町の名称」や「役場の位置」、また「議会議員の任期」

等々の協議におきましては、どうしても5町村特有の歴史や愛着といった利害も絡み、ときに衝突や難航もありはしましたが、最後は、互譲の精神のもとに、合併協議を取りまとめていただきましたすべ

ての關係各位に、心から敬意と感謝を申し上げます。今ではそのお蔭を持ちまして、こうして同じ町民となり手を携え、新たなそとして全国的にも有名な、関西学

院大学大学院の小西砂千夫教授が愛南町にお越しになられました。先生は合併前の平成13年に南宇和郡にお出でになり、講演をいたしております。その縁から、どうしても合併後の愛南町を自分の肌で感じてみたいということ、そのときの来訪となりましたが、先生は、合併して良くなった部分はないながらも、愛南町では合併したことによる効果が随所に実感できていると満足してお帰りになられました。

昨日、東日本大震災から3年7か月が経過しました。あの押し寄せる巨大津波の衝撃的な映像など想定外の被災状況を目の当たりにし、私何度か被災地を訪れましたが、今後必ずや発生するであろう南海トラフ巨大地震を考えたとき、「全町民の命を守り、つなぐ」ためには、災害対策の司令塔となる強固な施設の必要性を痛感し、現在、新消防庁舎と共に新庁舎の建設作業を進めているところ、新庁舎の新築では、全国初となる県との合同庁舎化が決定しています。このことは、巨大地震発生時の被害想定で甚大な被害が予想される愛南町にとって、災害発生時の連携強化が期待され、また、平時においては、第一次産業を中心に地域の活性化を図ろうとする側面からも、県との協力体制には関係住民各位から大きな期待が寄せられているところ、

また、災害発生時にもとより、救急医療や特産品等輸送の観点からも、町民の悲願・待望でありました「四国8の字ネットワーク」も内海までは事業化が決定し、引き続き「命の道」となる内海以南の早期整備についても、強く要望活動を続けており、「町づくりは道づくり」といわれるような各種効果の実現をめざしているところ、

このように、合併という地域の広がりや一体化によって、様々な事業等が具体化されました。もちろん、合併によって、マイナスと感じることもあるとは思いますが、デメリットは町への課題だと受け止め、今後、解決していくことでメリットに変化させていきたいと考えています。

今年5月には衝撃的な発表がありました。人口の減少により、2040年までに日本の自治体のうち、約半分の896の自治体が消滅する可能性があるということです。中でも愛南町は、不名誉なことに県下で最も高い人口の減少率となっていました。少子化や人口減少を直ちに止める秘策はありません。しかし、私は悲観することなく、第一次産業を柱に、地域にある物と人を活かす磨き産業化すること、地道に愛南町らしさを構築していきたいと思っています。

中村時広愛媛県知事は、愛媛の「愛」を具体化させるための数々の施策を、スピード感と何より実績重視で展開されています。その向かう先が愛の字を使っています。「愛顔えひめ」でありますが、私は、愛媛の愛南という愛の字二つをもとに、中村知事に負けない「愛顔2乗」のまちづくりを行っていききたいと考えています。

愛顔は、人の心を豊かにするものです。今後とも、合併を一つの変化と捉え、新たなまちづくりの契機とし、そして「ともにあゆみ育て創造するまち」第2章「の実現に向け、さらに努力して参りたいと存じますので、今後とも一層のご支援、ご指導、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。